

— NHK 宮崎放送局制作 —

口蹄疫をテーマにしたドラマ「命のあしあと」が放送されます

NHK 宮崎放送局では口蹄疫をテーマにした地域発のドラマを制作しました。

2010年、宮崎県を襲った家畜伝染病・口蹄疫。県下には非常事態宣言が発令され、牛と豚、合わせておよそ30万頭が処分されました。今も畜産農家や地域全体に深い傷跡を残しています。このドラマは、親子三代にわたって畜産を営んできた農家を口蹄疫が襲い、感染拡大を防ぐために育ててきた牛を殺処分されることになるというストーリーで、家族の葛藤や苦悩を描きます。撮影はすべて宮崎県内で行われ、実際に畜産農家の方々の住居や牛舎を借りて撮影されました。

このドラマでは、女優の原田夏希さんが地元の動物病院で働く獣医師を熱演しています。宮崎県獣医師会の指導のもと、口蹄疫の被害拡大を抑えるためにウイルスに感染していない牛を殺処分せざるを得ない獣医師の心の葛藤を描いています。当時、私たちメディアが迫りきれ



(左から) 原田夏希さん 陣内孝則さん 高岡早紀さん

なかった口蹄疫の被害の実態を、このドラマを通して全国の方に知っていただきたいと思います。

ドラマ「命のあしあと」、ぜひご覧ください。

〈あらすじ〉

親子三代にわたり地元で畜産を営んできた日高修平（陣内孝則）は、妻の里美（高岡早紀）と一人娘の遙花（須藤菜々子）とともに牛の世話をする毎日。尊敬する先輩農家の村木耕三（大地康雄）を家に招いては牛談議に花を咲かせるなど、牛と家族に愛情を注ぎながら幸せな日々を送っていた。ある日、なじみの居酒屋「大将」で昼食をとっていた修平の目の前で、役場農水課長の緑川（温水洋一）が店の大将（泉谷しげる）に宴会のキャンセルを突然告げる。家畜の伝染病・口蹄疫が町を襲ったのだ。感染は爆発的に拡大。修平たちの牛は徹底した消毒により未感染だったにもかかわらず、感染を食い止めるために殺処分されることになる。里美や遙花との幸せな暮らしも崩壊し、大切に育ててきた牛を失った喪失感に襲われる修平。再開へ向けて立ち直るキッカケを失っていたその時、修平の心を動かしたものは…。



プレミアムドラマ  
命のあしあと 放送情報

放送日時：平成25年1月27日(日) 午後10:00～10:59

BSプレミアムにて全国放送

作：清水有生（「あぐり」「すずらん」等）

音楽：吉俣 良（「篤姫」「江～姫たちの戦国～」等）、今村哲也

出演：陣内孝則、高岡早紀、泉谷しげる、大地康雄

原田夏希、温水洋一 等

問合せ先：NHK 宮崎放送局 総合マネジメント(広報)

☎0985-32-8114（土日祝を除く午前9:30～午後6:00）

NHK 宮崎放送局ホームページ：

<http://www.nhk.or.jp/miyazaki/>